

おもな内容

- 2頁……………変りゆくわたくしたちの
まち
- 3～6頁……………都市化により生じた主
な問題
- 7頁……………補正予算第2号
・三多摩分水を受水
- 8頁……………国民年金のお知らせ
・まちの話題
- 9頁……………夏休みの生活は
規則正しく
- 10頁……………市表彰条例による
表彰者

よみがえったホタルの群れ

スーッと、スーッと、青白い光がやみに弧を描いて明滅する。美しい光の乱舞だ。

6月17日、第7回ホタルまつりが玉川上水の青梅橋で行なわれたが、今年は天候と玉川上水の水量の関係から、おどろくほどのホタルが発生し、つめかけた約1万5千の人たちは、幽玄な自然の美しさに酔った。

今年も、都心から多くの見物客が見えたが、各地で自然がつぎつぎと失なわれ、過密と公害が叫ばれている現在、この光景はあまりにもめずらしく、人々の心をとらえるのであろう。このホタルをみんなで保護し、いつまでも自然との調和された生活を楽しみたいものである。

変りゆくわたしたちのまち



小中学生ははよいよ7月21日から長い夏休み、体力づくりに、自由勉強にそれぞれとりくみます

が、毎年この時期には、多くの小中学生が福生市についての勉強のため、市役所を訪れます。

そこで、今回は2回にわけて、毎年質問の多い、市の人口や財政、市の直面している問題を中心に、福生市の横顔を紹介してみます。

はげしい人口の異動

福生市の人口

近年、わが国では産業や経済が目ざましく発展し、それにともなつて、人びとが大都市に集中する傾向があらわれ、過疎や過密の問題を生じさせました。そして、大都市やその周辺の地域社会では、どんどん人々が集まってくる。

福生市もこれとまったく同じことが見られます。特に東京都内の人口増加はもう限界にきて、三多摩全域が人口増加の傾向にありますが、福生市の場合も、勤め先を東京都内にもつ人たちのベツトダウンとして発展しつつあります。市内へは全国の府県から人々が集まってきましたが、一年間で約五千人、このうち約七割は、都内からの転入者です。

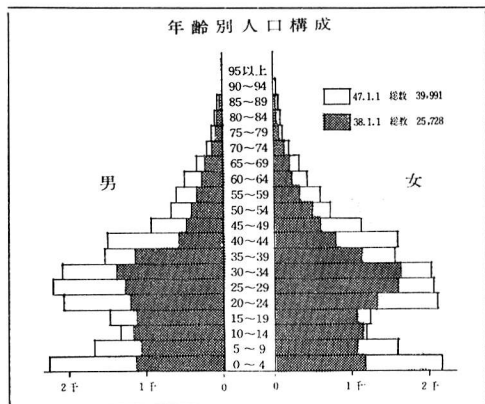
また、福生市から出ていく人も、毎年三〇〇人以上で、きわめて激しい異動です。

昨年の五月一日から今年の四月三十日まで、市民課窓口で、転出者に、「なぜ福生市から出ていくのですか」と調査しましたが、女性の結婚をのぞき、転出者の六割が単独世帯（独身者の世帯）で、その理由は、転勤、就職など職業的理由がほとんどでした。また、一般家族の転出理由は、

近年、わが国では産業や経済が目ざましく発展し、それにともなつて、人びとが大都市に集中する傾向があらわれ、過疎や過密の問題を生じさせました。そして、大都市やその周辺の地域社会では、どんどん人々が集まってくる。

このため、福生市の人口増の原因は、一見転入者による増加が主な原因のように見えますが、出生による自然増とほとんど変わりません。（下表参照）

このため、福生市の人口増の原因は、一見転入者による増加が主な原因のように見えますが、出生による自然増とほとんど変わりません。（下表参照）



年	増		減		増加人口	自然増
	転入	出生	転出	死亡		
45	4,069	1,232	3,165	178	904	1,054
46	4,822	1,058	3,862	171	960	887

ふえる乳幼児と労働力人口

左表は、今年の一月一日現在と、昭和三十八年一月一日現在の男女別年齢構成を比較したものです。総体的には、各年齢層とも増加の傾向にあり、九年間で約一万四千人増加しておりますが、0歳〜4歳までの乳幼児と、22歳から40歳までの労働力人口が非常にふえていることがわかります。

特に0歳〜4歳までの人口は九年間で約二倍になっていきます。これは、労働力人口の中に結婚後間もない若い労働力人口がふえていることを示しています。

減少する農業規模

のびる商業

産業の変化

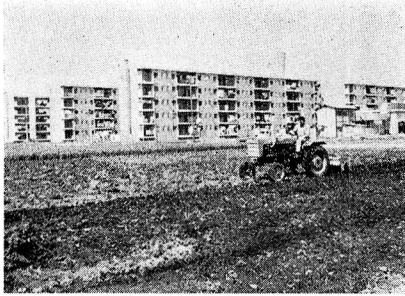
農業

戦前までは、福生市は農業を中心としておりましたが、まちの都市化に伴い、畑もつぎつぎと宅地に変わってしまいました。昭和三十三年から四十五年までの十年間に、約八七万三七〇²mが宅地に変わりました。

また、毎日一・三棟の割合で、新しい家が建てられています。

このため、農家人口もすっかりへってしまいました。

農業統計による農家数も、昭和三十五年は五一五戸でしたが、昭和四十五年には三三三戸、農業に



従事した人も、昭和三十五年には三、三三八人でしたが、昭和四十六年には、一九〇一人となっていました。農業を専門にやっている人もたった四戸で、ほとんどが兼業です。

また、新しく植木業へとりくんだ人も約四〇人おられます。

これからも、ますます農地はせばめられていくでしょう。

農業人口はへって、多くの人がちが、第二次産業（鉱業、建設業）や第三次産業（卸売及び小売業、金融、保険、運輸、通信、サービス業、公務など）に従事しています。

また、多くの人たちが、福生市から出て働いています。

昭和四十五年の国勢調査結果は、まだ出ていませんが、昭和四十年の国勢調査によると、福生市の夜間人口は、三〇、七九〇人、昼間の人口は二八、六五六人となっており、この数字はこのことをよく示しています。

面積	農家数
10アール未満	35
10アール～30アール	142
30アール～50アール	76
50アール～100アール	60
100アール～150アール	9
150アール～200アール	1
計	323

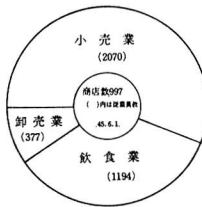
商業

人口増加に伴い、商業は発達し、商店数はふえてきました。

昭和四十五年の商業統計によると、福生市の商店は九九七で、昭和四十三年にくらべ二二・九%増

従業員も三六四一人で、二八・五%の増加で、年間売上額は三〇六億二、七〇〇万円で、昭和四十三年にくらべ七六・八%増で、非常に伸びており、福生市周辺の市町村の人たちも吸収していることがうかがえます。

これからも、西多摩の玄関として魅力ある商業が期待されます。



工業

武蔵野台工業地区には、昭和四十三年から工場も進出しました。

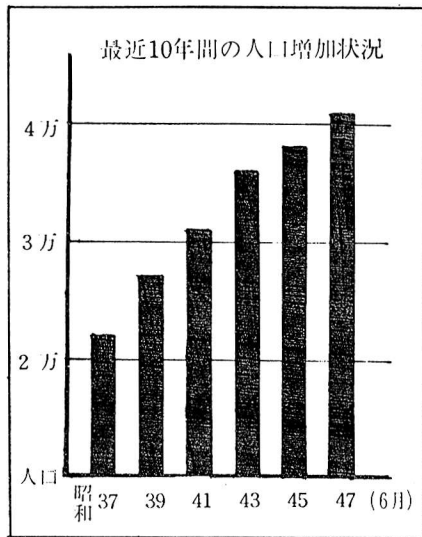
昭和四十五年の工業統計によると一〇八社、一、八一名が働いており、出荷額も一〇六億六、八〇〇万円です。

ただ、大規模な工場は少なく、下請の部品などをつくっている工場が多いようです。従業員別では、九人以下が六九社、十人以上が十二社、二十人以上は二十

福生市の数字

- 市の面積 10.3km² (うち横田基地 約 3.00km²)
- 東 西 3.5km
- 南 北 4.5km
- 標高 最高 143m (武蔵野台、1丁目付近) 最低 104m (第5小付近)
- 人口密度 5,566人
- 一世帯平均 3.0人
- 出生 1日 2.8人
- 死亡 2日に 1人
- 結婚 1日 1.3組
- 転入 1日 13.2人
- 転出 1日 10.5人
- 交通事故 1日 1.1件 (軽い接触事故をのぞく)
- 火災 1カ月3.9件
- 最高平均気温 8月の30°C
- 最低平均気温 2月の-2°C
- 市職 員 128人に1人
- 医 師 552人に1人
- 警 察 官 191人に1人
- 消防 署 員 537人に1人
- 学 校 都立高校 2 市立中学校 2 市立小学校 6
- 幼 稚 園 5 (私立)
- 保 育 園 7 (市立2、都立3、私立3)
- 金融機関 4
- 医 療 病院 3、医 院 19、歯科 13

最近10年間の人口増加状況



都市化により生じた主な問題 (その1)

まちの都市化がすすみますと、市役所の仕事もいろいろとふえてきます。それでは、人口の増加により、市にはどんな問題が生じてきたのでしょうか。その主なものについて記してみよう。

・追われる学校の増築、新設

別表一は過去五年間の市の決算状況ですが、毎年教育費がトップです。

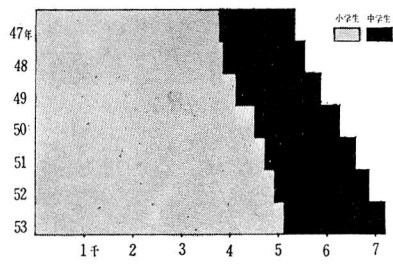
市では、明日をこらに児童、生徒が、よりよい環境の中で勉学にはげめるように、教育施設を整備し、また父兄の私費負担の解消など、教育には特に力を入れておりますが、人口の増加とともに、小中学生の数もふえ、毎分校舎の増築や新設に追われています。このため、多くの予算が教育費につぎこまれていきます。

昨年度は、三小と六小の増築をおこないましたが、今年も一中や六小の増築を予定しています。

なお、別表二は、今後六年間の予想される小中学生の増加状況ですが、昭和四十九年度に多摩河原に団地ができますと、これ以上の増加が予想されません。このため、これからは小学校や中学校の建設を考えなければなりません。

学校の建設には、国からの補助もありますが、建設は建物ばかりでなく、広い土地や備品などを必要とし、多く

小中学生増加予想図 (別表2)



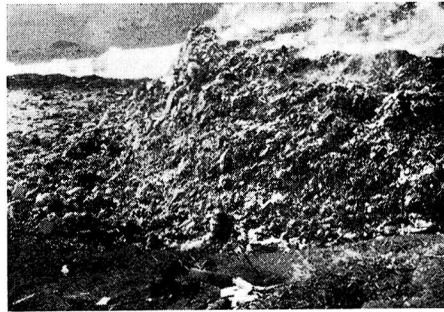
・ふえるゴミとし尿

人口がふえると、当然みなさんのご家庭から出されるゴミとし尿の量もふえてきます。

現在、処理場は、福生市、青梅市、羽村町、瑞穂町の二市二町で運営する西多摩衛生組合により、羽村町にある緑化園で処理されていますが、ゴミの量は毎年増加しています。

一日平均八五トンがすてられますが、現在の処理能力は一日五〇トン、このため、職員が三交替で二十四時間昼夜機械をうごかして処理していますが、もう処理能力は限界で、今年の十二月を目ざして新しく焼却場を建設中です。

また、左表でもおわかりのことと思



焼却灰をすてる場所の確保もこれからの大きな問題

このような状態が続けば、みなさんにおさめていただく、税金の多くが、ゴミやし尿のために使われてしまっています。

これは、各市の共通の悩みですが、これからはなるべくゴミを出さない工夫などが必要とされ、大きな問題です。

・低下する地下水

(水源)の水位

福生市の水道は、普及率は九七・八%で、市内全域に豊富な水を供給しています。

水源は、深井戸(深さ一五〇m〜二〇〇m)を市内の十三箇所掘り、水をくみあげているわけですが、年々地下水の水位がさがってきました。

これは、各市町とも、急増する人口、そしてふえる水の使用量に対し多くの井戸を掘り、また水を多く使う企業の進出もさかんで、限られた地下水

・多摩川の汚せんなどの公害問題

まちの都市化、産業の発達により、わが国の各都市ではいろいろな公害問題が発生していますが、市の公害係でも、毎月二回自動車の排気ガスの無料測定や、主要交差点での空気の汚染、騒音について調査しています。光化学スモッグはまだ市内では発生していませんが、これからは十分注意しなければならぬ問題です。

多摩川の汚染も大きな公害問題です。住宅や工場がふえてきますと、そこから流れ出す汚水で川もよこされてしまいました。少しの汚水では、川はきれいにする力はあるのですが、急激に住宅がふえたために、川はその力を失ってしまったのです。

かつて、清流をはり、水泳に、魚とり親しめたのに、大変残念なことです。

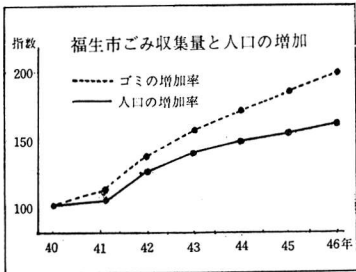
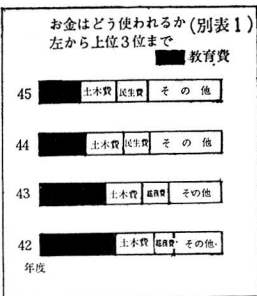
この問題は、多摩川だけでなく、わが国の大都市周辺の共通の問題ですが、この問題解決には、下水道の建設が第一です。

今年の四月には、東京都の多摩川上流域下水道(いくつかの市町村の排水や汚水を広域的に処理する下水道)の計画がきまり、これから昭和五十五年の完成を目ざしてはじめられますが、市の下水道計画も、これにあわせてすすめていきます。

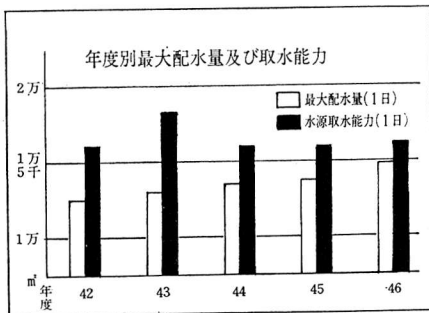
これが完成いたしますと、多摩川の水もきれいになり、また福生市でも水洗便所ができ、本当に衛生的なまちに



のお金がかかります。
これからも、予算にしめる教育費の割合が多いのは当分続きそうです。



いますが、人口の増加率よりも、ゴミの増加率の方が多くなっており、新しい処理場が完成したとしても、人口増に伴うゴミの増加を考えると、昭和五〇年が限度とされ、焼却灰や、危険物を埋めたる場所の確保とならんで、これからの大きな問題です。
それでは、福生市では、これらのゴミの処理にどのくらいのお金がかかっているのでしょうか。
昭和四十五年度からゴミとし尿の手数料は無料化しましたが、昭和四十五年度の決算では、じん芥処理費として一、八四一万円、一トンあたり約五〇〇〇円、一日十五万円、また、西多摩衛生組合負担金として四、二六八万円かかっています。また、し尿処理には、二、五九九万円かかっており、ゴミとし尿に八、七〇八万円かかっています。これは、市民一人当たり約三、三〇〇円かかったこととなります。



の水をどんどんくみあげるためにおこったものです。
このため、いつまでも地下水の水だけにとよって、年々増加する水の使用量に應じられなくなってしまう。
そして、たりない水は、東京都の三多摩分水から水を買入れなければならなくなりました。
この問題は三多摩各市の共通の悩みですが、この水源の問題から水道事業を東京都に移管するという水道一元化の問題が生じてきました。
現在、三多摩の市町村では、三多摩市町村水道問題協議会をつくり、この問題について検討しております。

・緑化運動

まちが発展し、生活が便利になっても、市内がコンクリートと石でかまってしまう、光化学スモッグで傷つけられたりしては、本当の健康な市民生活はのぞけません。市では、福生市がさばくようなまちにならないよう、今までも緑多い公園づくりに力を入れてきましたが、今年から市の木にモクセイ、市の花にツツジを定め緑化運動をすすめていきます。
すでに公園などの公共施設に植樹をはじめましたが、今年から生まれた赤ちゃんには記念樹をさしあげます。
みなさんもご存知のように、緑は大気汚染の一つである炭酸ガスをとり、人間の生活に必要な酸素を供給



排気ガス調査

なります。
この事業には、非常にたくさんのお金がかかりますが、福生市のこれからの大事業の一つです。



朝の福生駅

するという作用をもっており、人間にうるおいたりやすらぎを与えてくれ、機械化されていく都市生活の中では非常に大切なものです。みんな、これからは大事にしたいものです。

・都心への通勤難の解消問題

三鷹・立川間立体化 複々線促進協議会

三多摩は人口増とともに、都心への通勤、通学者がふえております。特に三鷹以西地区の人々の伸びは急激で、朝夕の通勤通学はもはや限界にきています。

そこで、福生市のほか十二の市町村では、国鉄に対して、毎日さわやかな通勤、通学ができるよう一日も早く中

央線三鷹・立川間の立体化複々線を実現し、青梅線、五日市線の東京直通の増発をしてほしいとの運動を続けております。これは、青梅線、五日市線の東京直通の増発は、基本的には立川駅や中央線の改善に係るわけで、現在、三鷹まで完成している立体複々線を一日も早く立川まで完成してほしいと要望しているわけです。

(注、この計画は、昭和45年2月国鉄が発表した向う十年間の大都市への通勤通学輸送対策計画にあげられていま

す。現在、福生駅の一日乗降客は一日約一万二、〇〇〇人ですが、朝のラッシュ時(午前7時~8時)には、約五、〇〇〇人の乗客があり、一日の乗客の約半数がこの時間に集中しています。バス路線の多く入っている福生駅では、この乗客は、福生市だけでなく、近隣市町村の人たちも含んでおりますが、これからも、西多摩の人口増が続くことは明らかであり、このままの状態が続けば、朝夕の通勤通学は大混乱をまねきます。

安全で、快適な生活を送るためにも、一日も早く改善してもらいたい問題です。

(次回はふえる交通事故、火事と緊急、地方財政などについてふれてみます。)

都市化にそなえ

すすむ道路舗装と

区画整理

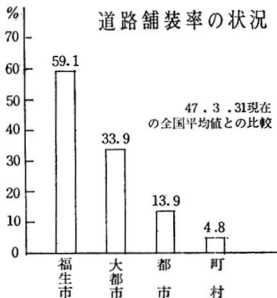
◆道路舗装

都市化に伴い、市ではいろいろな施設の整備をしておりますが、道路は、まちの発展の基礎となる大切なものです。

市では、ここ数年、重点的に実施した結果、舗装率も五九・一%となりました。

(注、これは多摩河原の実存しない農道を含めたものであり、実際にはこれ以上の舗装率です。)

これは他市や、全国の市とくらべても、高い舗装率です。なお、今年度も、道路の新設改良予算として、六、七八万円を使い、一七本、延長四、一三五米、面積一、万八、四七四平方米を予定しています。



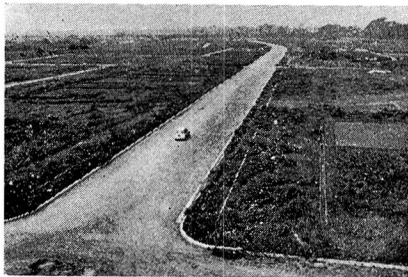
◆区画整理事業

家が無計画にできてしまっっては、住みよいまちづくりはできません。そこで、家があまりできないうちに、道路や排水施設を計画的につくらなければなりません。

福生市では、すでに昭和二十四年に本町、志茂、牛浜の地区の区画整理を完了しましたが、その後昭和四十五年には、武蔵野台地区が完了しました。現在、加美平地区と多摩河原地区の事業にとりくんでいます。

みなさんも、よくおかりのようには、区画整理がすんだところは、道路もごぼんの目のようにきちんとしています。

住みよいまちづくりのためには大切な仕事です。



区画整理のすすむ多摩河原

下水道費・公園整備費など

七六〇六万七千円を追加

Ⅱ 一般会計補正予算第二号 Ⅱ

昭和四十七年度第二回定例議会が六月二十日から開催されましたが、本年度の一般会計及び福生都市計画福生土地地区画整理事業費が補正されましたので、一般会計を中心にお知らせします。

一般会計は、本年度第二回目的ものですが、歳入は、国庫支出金三七万六千円、都支出金三五九万一千円、繰越金二七〇〇万円、諸収入八〇〇万円、市債三七一〇万円が増加して七六〇六万七千円が追加され、一般会計総額は、二〇億

一〇五〇万円となりました。
なお、追加した支出の主なもの
は、つぎのとおりです。

▽ 福生緑地(仮称南公園)整備工事 八〇〇万円
▽ 福生神明公園整備工事 一〇〇万円

▽ 老人クラブ補助金 一〇三万七千円
▽ 福生市公共下水道基本調査計画及び認可設計業務委託料 一〇七〇万円

▽ 流域下水道事業負担金 四一〇〇万円
▽ 下水道環境整備専員負担金

▽ 老人クラブ補助金 一〇三万七千円
▽ 福生市公共下水道基本調査計画及び認可設計業務委託料 一〇七〇万円

▽ 流域下水道事業負担金 四一〇〇万円
▽ 下水道環境整備専員負担金

福生市の水道は、現在十三の井

七月、八月の二か月 間東京都から分水を 受入れ

Ⅱ 水は大切に Ⅱ

算総額は三億二二三三万円となりました。

一、二、三、六千円

福生都市計画福生土地地区画整理事業会計補正予算(第一号) 二億〇五六五万円を追加し、予算総額は三億二二三三万円となりました。

戸から水をくみあげ、三つの浄水場から給水してありますが、人口の増加、生活水準の向上に伴い、水の使用量は、年々増加の傾向にある反面、水源となっている地下水の水位は年々減少している状態です。このため水源を地下水だけに求めたのでは、水不足になることが予想されます。

そこで、七月、八月の二か月間一日平均八〇〇m³の水を東京都の分水(多摩川の水を小作浄水場から送水)から受けることになりました。分水料金は、地下水に比べて割高となりますので、受水量が增大すると水道事業の経営が苦しくなります。

水を大切に使うようご協力をお願いいたします。

市内に緑をふやそう

= 福栄町会の子供会が植樹 =

市内に緑をふやそう、と6月25日(日曜日)に福栄町会の子供会の6年生のみなさんは、市の協力によりモクセイの木を町会広場などに植込みました。都市化にともない市内の緑も失なわれていますが、このモクセイも、子供達と共にどんどん大きくなり、芳しい香りを漂わすことでしょう。大切に育てたいものです。

なお、市では、今後も緑化運動をすすめるため、市内居住世帯のうち、昭和47年4月1日以後の出生児を対象に、市の木(モクセイ)をさしあげます。贈呈は、毎年2回とし、第1回目は、4月から9月までの出生児に対し10月中に贈呈します。



モクセイを植える子供会のみなさん

のでご注意ください。

ステッカーの配布日時、場所はつぎのとおりです。
日時 八月三日(木) 午後一時〜午後五時
八月四日(金) 午前九時〜正午

場所 福生商店街協同組合事務所
くわしいことは、経済課商工係(電話51-151-1内線261)へ。

七夕まつり

見物の方に お願い

恒例の「福生七夕まつり」には市内はもちろん、都内から、また近県から多くの方々が見物に來られます。

七夕まつりの豪華な飾り付けは、各商店の方々長い間苦心して製作したもので、その飾り付けをいじったり、もぎ取ったりする方が毎年多くなっております。

市民のみなさん方には、飾り付けをもぎ取ったりするようなことがないようご協力をお願いいたします。また、七夕まつり期間中は、飾り付け区域内は禁煙となりますのであわせてご協力をお願いいたします。

なお、七夕まつりのパンフレットや交通規制図は、七月下旬に新聞折り込み等でお知らせします。

七夕まつりの 交通ステッカーを 無料配布

今年も、八月四日から七日までの四日間、七夕まつりが行なわれますが、七夕まつり期間中は交通規制がしかれ、規制区域内の方々には、ご迷惑をおかけしますが、交通ステッカーがあれば、通行止め等の区間でも通行できるようになります。

ただし、通行できる時間は、規制時間のうち、午後五時までで、五時以降は通行できなくなります。

夏休み中は

規則正しい生活を!



市立小・中学校は、七月三十一日から八月三十一日まで夏休みに入ります。

夏休みは、学校の生活からはなれて家庭生活が中心になります。

小・中学生が楽しい夏休みを送るよう、各家庭では、とくにつぎのことに留意してください。

一、児童生徒が、自分で自分の生活をきざきあげる事が基本になります。

・ 自分で計画を立て、それを実行し、反省する習慣をつけるよい期間です。はげましたり、相談ののってやったりしてください。

二、事故防止、非行化防止等にじゅうぶんな注意をお願いします。

・ 交通事故から身を守ろう。外出のとき、交通のきまりを守らせよう。

・ 中学生のオートバイは、絶対やめさせたい。

・ 水による事故が増える時期です。
・ じゃり穴、川あそびに気をつけよう。
・ シンナー悪用

有毒性、恐ろしさを理解させたい。

・ 男女間の問題

服装が派手になったり、しげきにならないように、したいものです。

・ 外出先では予定外の行動をとらせない、見知らぬ人の誘いにのらない。

・ 光化学スモッグに対して注意報や警報が発令されたら、戸外に出るのはやめよう。

三、楽しい家庭生活を

・ 家庭の一員としての自覚をもたせ、楽しい家庭生活を送らせたい。

夏休み中の

市役所のチャイムは

四時半と六時に

鳴ります

戸外で遊んでいる児童・生徒も、六時には、きちんと自宅にもどっているよう、四時半のチャイムの時には、帰宅の用意をはじめよう。

夏休みです。日課をつくって規則正しく……。



泳げない方は 水泳教室へどうぞ

泳げない方を対象に、つぎにより、水泳教室を開催いたしますので、お気軽にご参加ください。

日時 第一回……七月二十四日
(月)二十八日(金)・第二回……八月十四日(月)・十八日(金)

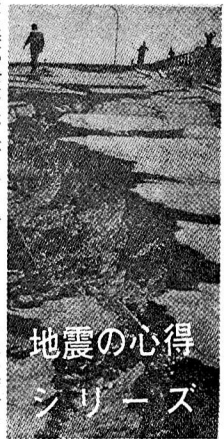
午前10時～正午
申込期限 第一回 七月二十一日
(金)・第二回 八月七日(月)

人員 第一回、二回とも先着五十名

指導者 福生市体育指導委員

申込先及びお問い合わせ 教育委員会庶務課社会体育係(電話511-5111内線263)または

市民プール(電話521-0398)



地震の心得 シリーズ

③ 自動車を運転していたとき

大地震の発生は、六月から九月に多く、夏は冬の約五〇%増となっております。そこで、夏の時期にも、もう一度、地震に対する心得をたしかめることが必要です。

① 自動車で行中、地震が起こったときは、つぎのような危険があります。

② ハンドルをとられ、だ行、衝突、横転などをする。

③ 急ブレーキをかけるため、追突、横転する。

④ 衝突して火災を起こす。

⑤ ガス管が破れ、漏れたガスに引火し、火災を起こす。

⑥ 地割れ箇所車輪がめり込み急停車、横転する。

⑦ 古い橋などが落ちて、走行中の自動車落ちる。

⑧ 高速道路を高速で走行中は、ハンドルの自由を失い、側壁に衝突したり、高架のときには落ちたります。

また、車の安全および、消防ポンプ車、救急車などの緊急車両の交通を確保するため、つぎのような行動に心がけます。

① 地震だと感じたときは、あわてて急停車することなく、ハンドルをとられないようにしっかりと握り、徐々に速度を落とし、道路の左側に停車して様子を見る。

② 警察官が交通規制を行なっているときは、その指示に従う。

③ 交通規制を行なっていないときは、カーラジオで交通情報や火災情報を聞き、混雑している道路や危険な方向は避ける。

④ 避難するときは、消防職員、警察官などが行なう避難の指示に従い、自動車を使わず、必ず歩いて避難する。

⑤ ガス管が破れてガスが漏れているときは、エンジンのスイッチなど引火したり、爆発したるおそれがあるので、エンジンを直ちに止める。

⑥ 自動車から出火したときは、直ちに備えつけの消火器などで消火する。



7月1日に43名を表彰

市表彰条例による表彰者

福生市表彰条例にもとづく一般表彰について、つぎの方々が、七月一日に表彰されました。

- ▽山崎繁三郎(福生一〇二九)
- ▽吉川 光(熊川六一七)
- ▽八月間、町会長として市行政に協力した功績
- ▽笹本多喜雄(福生六五七)
- ▽石川 泰一(熊川四八)
- ▽加藤 裕一(福生七六八)
- ▽野島 勇(熊川二八八)
- ▽上野 清(福生一一〇)
- ▽石川 豊(熊川三八九)
- ▽野島 義久(熊川一九)
- ▽森田 美芳(熊川七四〇)
- ▽石川 篤之(熊川五六)
- ▽天野 勇(熊川五三)
- ▽斎藤 源八(熊川三二〇)
- ▽内山 一男(熊川三五三)
- ▽西島 昭男(熊川五八五の九)

多年にわたり、消防団員として消防行政に貢献

- ▽橋本 ハル(熊川一七〇八)
- ▽村野 定吉(牛浜二二九)
- ▽青柳 コン(木町七二)
- ▽香山 勇(福生一七三)
- ▽平林 寅吉(熊川一六九二)
- ▽武田 平(熊川一五九七)
- ▽竹田 秋次(熊川四三九)
- ▽志賀 丈(中野区中央五一四一)
- ▽高野 文吉(青梅市沢井二一六六一)
- ▽横山 勝司(田無市本町四一四一)
- ▽守屋 春海(山梨県北都留郡丹波山村二五八六)
- ▽田中 小四郎(福生二四四一の八)
- ▽岡島 秀光(福生二四四一の七)
- ▽村野 達次(福生四九一)
- ▽山茂興業合資会社(熊川七二四)

寄付

- ▽市道用地、四六・二平方メートル
- ▽森田 昇一(熊川三七七)
- ▽木村 貴一(福生五一三)
- ▽市道用地、二二三・九八平方メートル
- ▽株式会社拜島不動産(昭島市松原町四一三一一三)
- ▽西武建設株式会社(豊島区南池袋一一六一一五)
- ▽市道(幅員三米、延長三三〇米)の舗装工事を自費で行なった。
- ▽宗教法入熊川神社(熊川六五八)境内の一部を「熊川公園」として無償で提供し、市の公園行政に積極的に協力
- ▽田村 晴二(福生一一五〇)第四小学校に対し、理科の教材用として、モクセイを寄付
- ▽田村 半十郎(福生六二六)第四小学校に対し、電子オルガン及び同オルガン用椅子を寄付
- ▽市道用地、二八・九八平方メートル
- ▽西村 邦康(熊川九二七)福祉会館図書室に図書(新刊)二七八冊を寄付
- ▽石川 昌男(西多摩郡羽村町羽田)土地を「児童遊園地」として無償で提供、児童福祉に協力
- ▽石川 慶一(熊川一)
- ▽土地を「児童遊園地」として無償で提供、児童福祉に協力

償で提供、児童福祉に協力

▽小堺 仁七(熊川三七六)市立つくし保育園に対し、遊具「ロケットジム」一基と鉄パイプ製よしず張日除一式を寄付

少年野球大会を開催

つぎにより、福生警察署防犯協会少年野球大会を行ない、また、参加希望チームは申し込んでください。

申込期限 七月十五日(土)から七月二十七日(木)まで

申込先 福生市役所総務課庶務係 防犯協会事務局(電話51115 11内線22)

予選大会は七月三十日、於牛浜グラウンド、優勝大会は八月十三日、於秋多中学校(雨天の場合は順延)

なお、申込用紙は事務局にあります。

編集室

小中学生はいよいよ長い夏休み、今月は毎年質問の多い市の人口と、都市化により生じた主な問題にふれてみました。

紙面の関係で、詳しい数値すべて掲載することはできませんが、皆さまをご理解していただけば幸いです。

▽暑さも本格的になりましたが、交通事故と並んで恐ろしいのは水の事故です。十分注意いたしましょう。